

絶滅危惧類 メギ科

ナンブソウ

Achlys japonica Maxim.

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

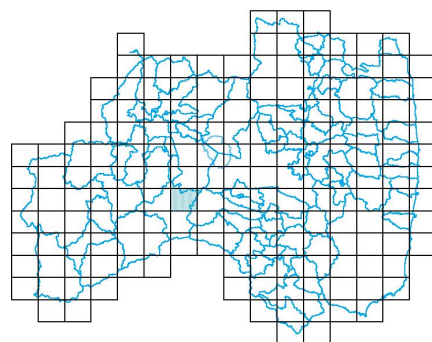
【形態】 高さ20～30cmで全体に毛がない。葉は長さ6～10cm、幅4～8cm、無柄の3小葉からなる。頂小葉は倒卵形で、先が3浅裂、側小葉はゆがんだ扇形で、先が波状に浅裂し、裂片の先は鈍い。5～6月頃、白色で径約7mmの無柄の花がやや多数、穂状花序につく。花糸の長さは不揃いである。袋果は腎形で、長さ3～4mm。

【分布】 北海道と本州北部の主として温帯の落葉広葉樹林の林床に生育。国外では中国北部・東北部に分布。

【県内の分布、生育状況】 下郷町の風穴でのみみられる。道路工事などで生育地が攪乱され、さらに園芸採取が目立ち、絶滅に瀕している。この下郷町の生育地がおそらく、分布の南限と思われる。

【生育に影響を与えている要因】 風穴の崩壊、産地局限

【特記事項】 風穴の維持管理の継続が望ましい。



絶滅危惧類 メギ科

トガクシソウ(トガクシショウマ)

Ranzania japonica (T. Itô) T. Itô

全国カテゴリー；絶滅危惧類

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

【形態】 高さ30～50cmで、茎や葉には毛がない。小葉はほぼ円心形、長さ幅ともに8～12cm、欠刻状に浅裂するかまたは中裂し、掌状脈がある。先端は尖り、基部は心状に湾入し長い小葉柄がある。花期は5月下旬～6月上旬、淡紫色で径約2.5cmの花が3～5個、それぞれ長さ4～8cmの花柄につき、下向きに咲く。雄しべは触れると内へ曲がる。花後、花柄は伸長して10cmを越える。液果は楕円形で白色、長さ約18mm。

【分布】 本州中北部の多雪地帯の落葉樹林の林床にまれに分布。日本特産種。

【県内の分布、生育状況】 尾瀬をふくむ檜枝岐村、只見町、西会津町などの7ヶ所で記載された。水はけの良い斜面に自生。踏みつけや園芸採取で減少している。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、園芸採取

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。

